

調布市消防団 広報誌

CVFB

CHOFU CITY VOLUNTEER FIRE BRIGADE



平成31年（2019年）1月13日 通刊第10号 発行／調布市消防団事務局 東京都調布市小島町2-33-1 文化会館たづくり西館3階 総合防災安全課内 TEL 042-481-7348

第10号



CHOFU CITY VOLUNTEER FIRE BRIGADE



CONTENTS

第3分団紹介&インタビュー	P2
第8分団消防ポンプ車を更新しました	P3
消防団の警戒活動	P3
幹部団員管外視察研修	P3
平成31年行事予定	P4
総合水防訓練・総合防災訓練の実施	P4
東京都消防褒賞を受賞しました	P4

調布市消防団は、本団及び15個分団体制で消防団長以下304名により構成されており、普段は自営業やサラリーマンなどの生業を営みながら、消防団活動を行っています。団員は、火災や河川の氾濫、地震などの災害時に市民の皆様への安全・安心を守るために、日夜訓練活動に取り組んでいます。

全・安心を念頭におき、消火活動をはじめ、いつものような形で起こるか分からない災害に対峙していくために、消防・防災に関する知識や技術を高め、火災発生時はもとより、地震や風水害といった大規模災害発生時に迅速かつ的確に対応できるように、これまで以上の訓練を重ね、努力と研鑽に努めるとともに、関係機関の皆様との連携をより一層強化して参る所存でございます。そして、「郷土愛護」の精神のもと、より地域に根差した消防団を目指して参ります。

結びに、市民の皆様におかれましては、調布市消防団へのより一層の御理解と御協力を賜りますよう、お願いを申し上げます。また、皆様の今年一年が、より佳き年になるよう心より御祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。



調布市消防団長
永易正敏

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素より調布市消防団の活動に御理解と御協力をいただき感謝申し上げます。

昨年におきましては、台風21号や24号による暴風雨の影響により調布市内でも多くの地域において、倒木や家屋損壊の被害に見舞われました。地震や風水害の多い日本において、災害と立ち向かう活動に携わることの厳しさを痛感したところでもあります。

我々消防団においては、調布市民の安全・安心を念頭におき、消火活動をはじめ、いつものような形で起こるか分からない災害に対峙していくために、消防・防災に関する知識や技術を高め、火災発生時はもとより、地震や風水害といった大規模災害発生時に迅速かつ的確に対応できるように、これまで以上の訓練を重ね、努力と研鑽に努めるとともに、関係機関の皆様との連携をより一層強化して参る所存でございます。そして、「郷土愛護」の精神のもと、より地域に根差した消防団を目指して参ります。

第3分団紹介&インタビュー

調布市の各地域を担当する分団の紹介&インタビューです。第0号から11個分団ずつ、活動写真と消防団員の皆さんのインタビューにより紹介をしています。

第3分団は富士見町全域、下石原全域、小島町1丁目の一部、調布ヶ丘4丁目の一部を担当地域としています。第3分団の皆さんに、入団したきっかけや、日々の活動等について取材をしました。



分団長 **北館 文佳さん**

Q: 消防団に入団したきっかけを教えてください。

A 下石原八幡神社の獅子舞の仲間のほとんどが消防団員で、何度か誘われるうち入団しました。

Q: 消防団としての地域での活動を教えてください。

A 火災時の消火活動をはじめ、技術向上のための放水訓練など様々な訓練や地域のお祭などの警備、火災予防として広報活動を行っています。雪が降った際はポンプ車にチェーンを巻いたり消火栓の雪かきなど行います。また、調布飛行場も近い事から隣接分団とともに飛行場内での訓練、多摩川ではサマーフェスティバルで打ち上げる花火や花火大会での放水や警備等、調布消防署と連携し活動しております。

Q: 消防団に入団して、ご自身に変化はありましたか。

A 入団した当初、私は仕事の忙しさから消防団での活動を欠席することもありました。団歴を増すにつれ後輩達が入団し真剣に取り組む姿を見てボランティア活動のつもりで入団したことを思い出し、お世話になった皆さんに恩返しのお気持ちで積極的に消防団活動に取り組んでまいりました。様々な職業や年齢差のある仲間たちに多くのことを学び経験し今日に至っております。

Q: 地域、そして市民の皆さんにどんなことを伝えたいですか。

A 消防団員として、分団小屋で点検を行い、いざという時に備えておりますが、私たちは同じ町に住み、皆さんと同じように仕事をしております。地域の皆さんの安全安心のため活動しているつもりではおりますが、いざという時に自分や家族の身を守るよう災害への備えをしていただきたいと思えます。また、ご興味のある方は私たちと共に消防団員としてこの街で新しい体験を求めて活動に参加してみてください。



団員 **石坂 周平さん**

Q: 消防団に入団したきっかけを教えてください。

A 同級生や近所の消防団員の方からの勧誘で入団しました。消防団の存在や役割は昔から知っていましたが、入団するにあたり仕事とのバランスなどが取れるか不安でした。しかし、団員全員で協力することで分団活動を行っているため全く問題なく消防団活動に従事することができています。

Q: 消防団の活動について教えてください。

A 火災があった際は出火報を受けた分団員たちで現場に急行します。私は現場では経験もまだ浅いため交通整理などをします。ほかにも地域の祭礼や花火大会などのイベントで警備を行ったり、年末に歳末特別警戒を実施しています。

Q: 日々の消防団活動をどのように感じていますか。

A 防火設備が発達している近年ではありますが、出火報を受けて現場に急行する際や現場に到着すると緊張感に包まれます。

Q: 消防団活動の中で印象に残っていることはありますか。

A 火災に出場した際に大きく火が噴き出ている現場に近づいたことがあります。この時は非常に恐ろしいなという印象を受けました。ほかに、秋に行われる例大祭での警備活動の際は昔から慣れ親しんだ地域の方々と例大祭を共にできることに楽しさを感じました。

副分団長 **加藤 弘道さん**

Q: 消防団に入団したきっかけを教えてください。

A 生まれてずっと調布に住んでいましたが、入団するまでは消防団活動についてまったく知りませんでした。そのような中、地元の盆踊りの手伝いを通じて当時団員だった先輩に誘われ、入団を意識するようになりました。その時は仕事も忙しく、自分に務まるのか大きな不安もありましたが、両親からの後押しもあって入団を決意し、分団の皆さんに温かく迎え入れていただきました。

Q: 日々の訓練(操法訓練等)、機械器具点検について教えてください。

A 消防団員として基本的な動作を習得するとともに、ポンプ車に積載している器具の適切な使用方法や火災現場における放水方法を身に付けるため、日々の訓練を行っています。機械器具点検では、有事の際に出場できるよう、ポンプ車の動作確認や積載品に不備がないかなどの確認を行っています。

Q: 消防団の魅力ややりがいについて教えてください。

A 地域との関わりが強くなり、良い先輩や仲間と出会う機会が格段に広がることが魅力だと思います。この出会いによって、自分の地元愛がさらに強くなりました。また、市内外を問わず、消防団経験者の方々から親近感を感じてもらいやすいこともあります。私自身、仕事上で消防団経験者の方々にお会いした際は、私が現役の団員だと分かるとお互いの距離が一気に縮まり、円滑な関係をつくる一助になったことが多くあります。昼夜を問わず出火報で出動する火災対応、夜間や休日に行われる様々な訓練などへの参加が大変だと感じることもありますが、仲間やOBの方々、地域の皆様に支えられ、「自分たちの街は自分たちで守る。」という責任感とともにやりがいを持ち、仲間と一緒に楽しく活動しています。

Q: 消防団活動の中で印象に残っていることはありますか。

A 消防団員として初めて出場した火災現場が忘れられません。入団前は火災現場で消火活動を見ている側にいましたが、初めて火災現場に出場したことで、火災現場で消火活動や救助活動などに自分が従事することにより微力ながらも地域を守る一員として力になれることの重要性を意識することができました。その出場を契機に、消防団員として日々の訓練などで基礎知識を蓄え、基本的な動作を習得し、有事の際には現場で活動できるように少しずつ努力して頑張っていこうと決意しました。

消防団の特徴とは？

消防団は日々訓練を行いながら、災害に備えて研鑽を行っています。消防団の特徴を生かし、地域の災害対応にあたっています。

①消防団員は、生業を営みながら活動しています。

消防団員は、普段自営業やサラリーマンなどの生業を営みながら、消防団活動を行っています。

②消防団は、災害に備え、訓練・研修・警戒活動を行っています。

消防団員は、基本操法訓練、総合防災訓練、震災消防訓練、総合水防訓練、文化財防火演習など、災害に備え様々な訓練を行っています。また、災害の防止に向け、警戒活動も行っています。

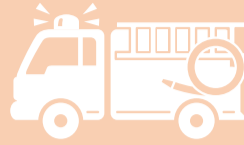
③消防団は、地域に密着した活動ができます。

消防団は、自分の地域は自分で守るという「郷土愛護」の精神のもと活動しています。自分達の地域の特性や情報に詳しく、逸早く災害現場に駆け付けることができ、災害対応にあたることができます。また、地域防災訓練への協力や、祭礼の警戒も行っています。



調布市消防団第8分団消防ポンプ車を更新しました 平成30年10月22日(市役所前庭)

調布市消防団第8分団の新しい消防ポンプ車が完成し、第8分団への引渡式を行いました。



永易団長が長友市長から新しいポンプ車の鍵を受取りました。



永易団長から三上分団長へ新しいポンプ車を引渡しました。



調布市消防団の警戒活動

火災・災害などの発生時はもとより、火災や災害を未然に防ぐための警戒活動を行うことで、市民の皆さんの生命と財産を守っています。
春・秋の火災予防運動や歳末消防特別警戒、調布市花火大会や地域での警戒活動などを実施しています。



幹部団員管外視察研修

今年度は、消防団の災害対応力の向上に資するため、平成28年12月に発生した糸魚川市大規模火災の被災地や火災対応を行った新潟県糸魚川市消防本部を視察しました。
※視察の際、被災地に対し義援金を寄付しました。



平成31年の主な予定

1月13日	出初式
1月25日	文化財防火演習
2月17日	消防ポンプ車操縦技能講習会
3月1日	機械器具特別点検
3月1～7日	春の火災予防運動・警戒
4月1日	消防団任命式
4月末日	機関員訓練・規律訓練
5月中旬	総合水防訓練
9月下旬	北多摩地区消防大会
11月9～15日	秋の火災予防運動・警戒
11月上旬	総合防災訓練
11月中旬	震災消防訓練
12月25日～31日	歳末特別警戒

ほか、地域の防災訓練や催事等にも参加しています。
 (予定は変更される場合があります。各行事の詳細は消防団事務局までお問い合わせください。)



調布市総合水防訓練・総合防災訓練の実施

平成30年5月12日(土)に集中豪雨に伴う水害や台風による河川の氾濫等を想定し、実践的な水防活動技術の習得、水防関係機関等との連携要領、水防部隊の機動的な運営を図り、水災による被害の軽減を図るために、総合水防訓練を実施しました。

また、いつ起こるかわからない震災に備え、「自分たちのまちは自分たちで守る」という防災の基本理念のもと、自助・共助といった地域での互助精神の高揚と防災行動力の向上を図るとともに防災関係機関との連携を強化し、災害時の迅速な応急活動態勢を整えることを目的として平成30年10月21日(日)に総合防災訓練を実施しました。



東京都消防褒賞受賞

平成30年10月24日に、調布市消防団第8分団三上分団長が東京都庁第一本庁舎5階大会議場にて、東京都消防褒賞を受賞しました。この表彰は、長年にわたり研鑽を重ねた消防団および消防団員の功労を称え、東京都知事より賞されるものです。



防災・安全情報メールに登録を!

登録されたパソコンや携帯電話に下記の情報が配信されます。

- 市からのお知らせ ●気象情報
- 地震情報 ●災害情報 ●防犯情報

◇登録方法

下記アドレスまたは右のQRコードに空メールを送信して下さい。

c-bousai@sg-m.jp



問い合わせ：調布市総合防災安全課 042-481-7346

地震だ! 身を守る安全 してありますか? 家具類の転倒・落下・移動防止対策

近年発生した大きな地震で怪我をした原因を調べると、約3割から5割が、家具類の転倒・転落・移動によるものでした。家具類の転倒・転落・移動は、避難通路を塞ぎ、火災を引き起こす原因にもなります。大切な家族を守るため、対策を行いましょ。詳しくは、東京消防庁のホームページをご覧ください。お問い合わせ：調布消防署 ☎042-486-0119



東京消防 検索

東京消防庁

消防団員募集!

調布市消防団と地域のみなさまがあなたの力を待ち望んでいます!



お問い合わせ

調布市消防団事務局 (調布市役所総合防災安全課内)

☎042-481-7348

入団資格

調布市に居住又は勤務しており、年齢18歳以上の健康な方